

気持ちは急いでいる

加地は 昼食は 軽くパンで
すぐ 口に突っ込み、牛乳飲んで出た。

食堂にいた連中も すぐ、急いで 出て行く。

僕が一人残り、変な心地で 箸を動かす。

補導担当の中田先生が ギョロリ、にやりと笑う。
僕は、口をもぐもぐ、「もったいない」と言う顔。

それでも、落ち着いて見えても、
気持ちは急いでいる。

早く噛み、味噌汁で 御飯を 喉に押し流す。

五六時間目は 数学の試験。

先日の高校編入生用のテストを僕らにやらせる。

「百点取りよった奴の顔がみたい！」と思うわい。

図書館で四時まで、数学の考察。

四時四十二分の急行。

英会話テープ終われば九時半。

四時間ぶん、まだ聞くテープが残っている！
さぼるから悪いのだ！

もったいないお金をかけて
やっているが、効果はどうか。

もう、これも三月でやめる。